



土木学会創立 100 周年記念事業

東日本大震災学術調査成果講演会（札幌市）

ご案内

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、土木学会北海道支部では土木学会東北支部と合同で標記講演会を開催することといたしました。

本講演会は、土木学会東北支部、日本建築学会東北支部など7学協会東北支部の合同学術調査委員会が震災後2年の歳月をかけて行った調査の成果を、土木技術者、行政担当者等に分かりやすく説明し、今後の災害への備えに役立てて頂くことを目的としています。

時節柄ご多用の折とは存じますが、皆様方多数のご出席を賜りたく、ご案内申し上げます。

日時	平成 26 年 2 月 1 日（土） 15：00～
場所	札幌コンベンションセンター 小ホール （札幌市白石区東札幌 6 条 1 丁目 1-1 TEL：011-817-1010）
内容	別紙にある講演会プログラムをご覧ください。
お申込み	特に必要ありません。
参加費	無料
お問い合わせ	土木学会北海道支部タスクフォース部会事務局 本間 TEL：011-801-1590（株式会社ドーコン技術情報部）

※当日、札幌コンベンションセンターでは平成 25 年度年次技術研究発表会も開催しております。

※本講演会は CPD 対象です。

主催：公益社団法人土木学会北海道支部・公益社団法人土木学会東北支部

後援：国土交通省北海道開発局、北海道、札幌市、公益社団法人地盤工学会北海道支部、公益社団法人日本技術士会北海道本部

土木学会創立 100 周年記念事業

東日本大震災学術調査成果講演会（札幌市）

プログラム

日時：平成 26 年 2 月 1 日 15 時 00～

場所：札幌コンベンションセンター

小ホール

1 開会のあいさつ（15：00～15：05）

土木学会北海道支部長 木幡行宏

2 講演（15：05～17：50）

※各 40 分程度の講演

①講演タイトル「東北地方太平洋沖地震の地震・地震動，社会基盤施設の被害の特徴と今後の課題」

講師：東北大学・助教 松崎 裕

概要：平成 23 年東北地方太平洋沖地震およびそれに伴う津波により、広範囲にわたって多くの社会基盤施設が被災した。

本報告では、地震・地殻変動および各地で観測された強震記録の特性と社会基盤施設における被害の特徴を踏まえた上で、被害の広域性や新たな被害形態により明らかとなった今後の課題について述べる。

②講演タイトル「2011 年大津波による大規模侵食」

講師：東北大学・教授 真野 明

概要：2011 年東北地方太平洋沖地震津波は、三陸海岸や仙台湾沿岸にあるほとんどすべての防災施設（海岸堤防や防潮水門）を乗り越え大量の海水を陸域に送り込んだ。この海水はまもなく海に戻り始め、主に防災施設の周辺で流れの集中と大規模な洗掘を引き起こした。

本報告は、大規模洗掘の状況、洗掘過程、洗掘メカニズムに触れ、洗掘制御を考えるためのツールとして、予測手法の開発とレビューについて述べる。

— 休憩 —（16：45～17：00）

③講演タイトル「宅地滑動の復旧と災害発生物の処理および有効利用」

講師：東北工業大学・教授 今西 肇

概要：東日本大震災では一地区で 10 戸以上の宅地が被害を受けた場所が 64 箇所であった。それらすべてが 1978 年宮城県沖地震で被害を受けた箇所でもありその被害状況と現在行われている復旧方法を報告する。また、震災廃棄物となった災害時に発生したがれきや木くずなどと、津波によって海底から運ばれた津波堆積物の処理及び有効利用について言及する。

3 閉会（17：50～）